

令和２年度第２回東栄町総合教育会議 会議録

- 1 開催日 令和３年２月１６日（火）午前９時００分から午前１０時３０分まで
- 2 開催場所 東栄町役場 小会議室
- 3 出席者 町 長 村上孝治
教育長 佐々木尚也
委 員 堂地勝馬
委 員 渡辺忠司
委 員 伊藤芳子
委 員 西谷まゆみ
- 4 出席した職員
教育課長兼学校教育係長 栗嶋賢司
社会教育係長 青山 章
学校教育係 松崎健太
学校教育係 皆田 優
- 5 議事日程
 - 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 議題
 - (1) 東栄町立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針について
 - (2) 令和２年度教育課関係主要事業の進捗状況について
 - (3) 令和２年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価（中間報告）について
 - (4) 東栄町小中学校ＩＣＴ機器整備計画の進捗状況について
 - (5) その他
 - ・ 令和３年度文化祭関連行事等の事業計画（案）
 - ・ 教育施設の改修状況・計画等について
 - 4 閉会
- 6 傍聴者 １人

令和2年度第2回東栄町総合教育会議 会議録（要旨）

1 開会

（教育課長） ただ今から令和2年度・第2回東栄町総合教育会議を開催します。

2 あいさつ

（町 長） 新型コロナウイルスの感染が拡大しており、愛知県においても緊急事態宣言が発令中であります。医療関係者、教育関係者、保護者、地域の皆さまの感染予防対策に、心より敬意を表します。

このコロナ禍において、教育委員会、その他機関においても、感染予防対策には十分気をつけていただいておりますが、今後局面が変わると、色々と注意すべき点も出てくるだろうと思われまます。我々もしっかりと対応していかなければなりません。現在、新型コロナウイルスワクチンの接種に向けて準備をしているところであり、報道でもありますように、明日から医療関係者へのワクチン接種が始まります。私どもの方でも、65歳以上の高齢者への接種を準備しているところです。

さて、コロナ禍において、学びのオンライン化・デジタル化が飛躍的に進みました。デジタルツールの活用は、学校にとって最初は不安や負担が少なからずあったと思いますが、うまく使いこなせるようになれば多様な子ども一人一人に応じた最適化された中での学びを提供できると思います。

そして地域における暮らしや仕事においても同じことが言えます。オンライン会議ができるようになれば、これまで都会に集中していた人・モノ・情報が場所、サービスを問わず平等にアクセスできるようになります。一方、我々の地域には山菜取り、魚釣りといったオンラインでは体験できない実体・リアルを伴う恵まれた環境があります。こうした本物・リアルの環境を大切にしながら新たな機器や情報を活用し、今後も進めてまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

3 議題

（教育課長） 本日の会議は、資料として付けてあります「東栄町総合教育会議設置要綱」の第6条の規定により、公開となっております。ただし、資料については内部資料の扱いとさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

それでは議題に入ります。会議の議長は、要綱第4条第3項の規定により、町長が務めることになっておりますので、町長、よろしくお願いいたします。

（1）東栄町立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針について

（町 長） はじめに「(1) 東栄町立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

（教育課長） それでは、「東栄町立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針について」の協議をお願いいたします。「資料No.1」をご覧ください。資料は、1～3ページが方

針、4 ページがこの方針を受けての規則の制定案です。本日は、この方針と規則について委員の皆さまからご意見等を頂き、異議等がなければこの総合教育会議で承認いただいたのち、このあとの教育委員会会議に規則の制定を議案として上程したいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

この、教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針を具体的に申し上げますと、「学校における働き方改革」の一環として、教育職員の勤務時間の上限を定めることによって、限られた時間の中で児童生徒に対して効果的な教育活動を持続的に行うことができる状況を作り出すことを目指すものであります。

資料をご覧ください。「第1・趣旨」でございますが、背景としまして、教育職員の長時間労働を改善して、誇りや情熱を持ちながら健康で充実して働き続けることができるようにすることは、児童生徒に丁寧に関りながら、質の高い授業や個に応じた指導を実現していくための喫緊の課題であるとの背景があります。

こうした中、学校における働き方改革を推進するため、教育職員の給与に関する特別措置法に基づき、文部科学省は令和2年1月に教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき指針を定めました。これを受けて、愛知県条例で「教育職員の業務量の適切な管理、その他教育職員の健康及び福祉の確保を図るための措置は、教育職員の服務を監督する教育委員会が定める」旨の規定を定めました。東栄町教育委員会としましては、国、愛知県の趣旨に基づきまして、教育職員の在校等時間を管理し、長時間労働を改善するために、4 ページにある「教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」を制定するとともに、規則第3条に規定する教育職員の業務の量の適切な管理、その他教育職員の健康及び福祉の確保を図るために必要な事項を定めるものでございます。

次に「第2・対象職員」です。この方針の対象となる職員は、東栄小学校、東栄中学校に勤務する教育職員が対象となります。なお、事務職員につきましては、法定労働時間を超えて勤務させる場合は労働基準法のいわゆる36協定が適用されることになります。

次に「第3・在校等時間の上限」です。この方針の在校等時間の考え方ですが、超勤4項目の超過勤務時間も含めて、在校している時間と校外での勤務時間を加え、そこから勤務時間外に行う自己研鑽の時間、その他業務外の時間、休憩時間を除いた時間を「在校等時間」と規定しています。第2項は業務量の上限です。「1か月の在校等時間から正規の勤務時間を除いた時間が45時間を超えないようにすること」「1年間の在校等時間から正規の勤務時間を除いた時間が360時間を超えないようにすること」を規定します。第3項は特例的な扱いの規定です。原則は第2項のとおり1か月45時間未満、1年360時間未満ですが、児童生徒等に係る臨時的な特別な事情によって勤務せざるを得ない場合は「1か月100時間未満」「1年間720時間を超えないようにすること」を規定します。また、「連続する複数月の平均時間は80時間を超えないようにすること」「1か月45時間を超える月は、1年間に6月までとする」ということも規定します。

次に「第4項・在校時間等の把握」です。本方針の実施に当たっては、校長は教育職員の在校等時間を勤怠管理システムで客観的に把握するとともに、校外で職務に従事している時間についても、本人の報告等によってできる限り客観的な方法によって日々計測し、教育委員会は月ごとに在校等時間を把握いたします。

次に「第5・労働法制の順守及び教育職員の健康確保」です。本方針の実施にあたり、教育委員会と校長は、休憩時間や休日の確保等、労働法制を遵守すること、及び教育職員の健康及び福祉を確保するため、(1)から(6)に記載してある事項を留意します。

次に「第6・事後的検証」です。教育委員会は本方針を踏まえた小中学校の取組状況を把握するとともに、在校時間等の長時間化を防ぐための取組を実施します。特に、在校等時間が上限時間を超えた場合は、事後的検証を行うことになります。

最後に「第7・学校における働き方改革の推進」です。本方針の実施に当たっては、小中学校の働き方改革の取組を一層促進し、教育の質の向上を図るとともに、本方針の内容の情報発信に努めていくことを規定しました。この方針は、令和3年4月1日から施行します。

この方針と4ページの規則について、委員の皆さまからご意見等を頂き、異議等がなけれ

ば総合教育会議で承認していただいたのち、このあとの教育委員会会議に規則の制定を議案として上程したいと思いますのでよろしくお願いします。

(町 長) ただ今事務局から「東栄町立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する方針について」説明がありました。ご質問やご意見等がありましたらお願いします。

(委 員) 今現在、教員の勤務時間数は把握しているのでしょうか。また、今後の教育委員会で報告はされるのでしょうか。

(教育長) すでに勤務時間の管理システムを導入しており、在校時間は把握しています。新年度から報告できるかと思います。

(委 員) 教員が万が一うつ病を発症した場合、うつ病になってから教育委員会が把握をするのでは遅いので、時間超過した時点で問題提起をしてもらいたいです。現場の先生は、勤務が長引く理由を理解していて、仕方がないと片付けてしまいがちですが、教育委員会はより客観的に指摘できると思うので、報告を出してほしいと思います。

(委 員) 「在校等時間の把握」とあるが、これは学校単位で把握しているのですか。個人単位で把握しているのですか。

(教育長) 在校時間は個人単位で把握をしています。

(委 員) 衛生管理医は、どういう方がどのように助言指導をされるのですか。

(教育課長) 教員には年一回ストレスチェックをおこなっています。結果に関わらず希望する方には委託先の衛生管理医の面談を受けられる体制をとっております。

(委 員) 過去に職員の中に衛生管理者を設けるというのがあったと思うのですが、今でも存在しているのでしょうか。それは養護教諭でしょうか。

(教育長) 学校によって多少の違いはありますが、養護教諭ではなく、多くの場合は保健主事と兼ねたり、中間管理職の主任や教頭先生といった方がされます。

(委 員) 「令和3年4月1日から施行する」とありますが、4月の保護者会等で保護者へ通知すべきではないでしょうか。保護者としてはあまり具体的に分かっていないと思います。

(教育長) ありがとうございます。ご指摘の通りだと思います。先生の働き方に関することで、先生との間でやり取りしがちですが、一番大切なのは保護者の方々の理解だと考えています。教育委員会から説明させていただくのが適切だと思います。

(委 員) あまり強力に指導しすぎることによって教育職員が誇りや情熱を失うといったことがないよう、教育職員のため、生徒のため、保護者のためという思いの規則制定であってほしいです。

(町 長) ご協議ありがとうございました。本方針については「承認する」という結論でよろ

しいでしょうか。

<異議なし>

ありがとうございました。方針が承認されましたので、教育委員会で規則の制定についての審議をお願いします。

(2) 令和2年度教育課関係主要事業の進捗状況について

(3) 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価（中間報告）について

(町 長) 次に、「(2) 令和2年度教育課関係主要事業の進捗状況について」と「(3) 令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価（中間報告）について」は関連がありますので、一括議題とします。事務局の説明を求めます。

(教育課) 今年度の教育課の主要事業の進捗状況の報告をさせていただきます。資料No.2をご覧ください。主要行事、学校教育係、社会教育係、施設係ごとの主な事業の進捗状況が記載してありますが、9月以前の行事等につきましては、9月の総合教育会議で報告していますので、今回はそれ以降の進捗状況を説明します。

10月以降の主な行事は、11月9日に通学路交通安全対策連絡会、1月10日に成人式、1月27日から29日にかけて中学校とRCA校とのオンライン交流等を行いました。

次に各係の事業ですが、学校教育係の備品等の整備はほぼ終わりました。なお、★印のものは、地方創生臨時交付金を活用した事業です。3ページの工事については、3月の完了に向けて現在工事が行われているところです。

社会教育係の事業は、花祭会館映像データベースの更新が間もなく完了見込、生涯学習講座は4ページの表のとおりで、当初14講座を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で、4講座のみの開催となりました。

施設係の事業につきましては、花祭会館の音響設備の改修工事、森林体験交流センターの屋根塗替え工事が進められており、3月末には完了の見込みとなっています。

5ページ、6ページをご覧ください。5ページは総合社会教育文化施設の使用料、6ページは利用人数です。上の表が今年度の実績で、下の表が前年度と比較した表です。今年度は新型コロナウイルス感染症に伴う大きな影響がありました。4月・5月は緊急事態宣言に伴う施設の休館、また、一番の繁忙期である7月・8月は、多くの学校で夏休みを短縮したため、グリーンハウスでの合宿がキャンセルとなるなど、1月末までで昨年と比べて約986万円の減収となりました。また、6ページの利用者についてもイベント等の利用者を含め、約5万人の減少となりました。

7ページは森林体験交流センターの利用状況です。同じような理由で、約372万円の減収となりました。

(教育課) 次に、「令和2年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価（中間報告）の報告」をさせていただきます。資料No.3をご覧ください。

ただ今報告しました令和2年度の進捗状況を基に、今年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価を作成しました。まだ年度が終わっていませんので、中間報告とさせていただきます、最終的な点検・評価は9月に開催する総合教育会議でご協議いただきますのでよろしくお願いします。

それでは2ページをご覧ください。「学校教育」の項目です。一部を抜粋して説明します。

まず、「1-1 きめ細かな教育の推進」の項目です。新型コロナウイルス感染症の影響で学校が休業になったことから、年度の内容を履修できるように対応しました。また、「保小中連携教育」を具体化するために、学校運営協議会を組織化することを東栄町総合教育会議に提案しました。現在、小中学校と相談をしながら検討をしているところです。

「1-2 知・徳・体が調和した教育の推進」の項目です。3つ目、中学生海外派遣事業が中止となりましたので、交流校のRCA校生徒と3日間のオンライン交流に変更して実施をしました。

「1-3 連携教育の推進」の3つめ、北設楽中高一貫教育の各種事業を展開しました。

「1-4 小中学校の施設・設備の充実」の項目です。小中学校への「1人1台端末」の整備、特別教室へのエアコン設置、コロナ対策事業、中学校体育館のトイレ改修工事、中学校の防火水槽設置などの各種事業を行い、施設設備の充実に図りました。

「1-5 高校への就学支援」は、高校生通学補助、私立高校授業料補助を行って家庭の経済的負担の軽減に努めました。

次に4ページ、家庭・地域における教育です。「2-1 家庭教育力の向上」については、学校休業中においても家庭訪問や東栄チャンネル等を活用して情報交換を行いました。また、保護者会やPTA活動を通じて、個に応じた家庭教育の方向性を示しました。

「2-3 子どもの居場所づくり」では、小中学校ともに総合的な学習の時間を通して、地域を愛し地域を理解する学習を計画的に実施して、東栄町についての理解を深めることができました。

次に5ページ、生涯学習・生涯スポーツの項目です。「3-1 生涯学習の充実」、「3-2 スポーツ活動の充実」では、先ほどの事業の進捗状況でも説明したとおり、新型コロナウイルス感染症の影響で各種事業が中止となりました。生涯学習は14講座を計画していましたが4講座のみの開催となってしまいました。また、スポーツ活動の行事もほぼ中止という状況です。今後に向け、感染症対策を行ったうえでの事業実施が課題となっています。

「3-3 総合社会教育文化施設の充実と利用促進」の項目です。花祭会館の照明設備・音響設備の改修を行いました。

最後に6ページ、「文化の保存と継承」です。無形民俗文化財の保存・伝承として、小林花祭保存会の面修理などに対する補助を行いました。また、3年計画で実施してきた花祭会館の映像データベースシステムは、間もなく完成予定となっています。

(町 長) ただ今、今年度の「進捗状況」と「執行状況の点検・評価」の中間報告がありました。ご質問やご意見等がありましたらお願いします。

(委 員) RCA校とのオンライン交流について、カナダとは時差があると思うのですが、どういう形で解決されたのでしょうか。

また、総合社会教育文化施設はシルバー人材センターを指定管理者とありますが、今年度は利用者や宿泊者がほとんどなかったと思います。その場合シルバー人材センターに支払う指定管理料金は、利用人数が多くても少なくても一定の金額なのでしょうか。

(教育長) RCA校とのオンライン交流は、こちらの朝8時半ごろが、両方とも活動できる時間帯でしたので、その時間帯に実施しました。

(教育課長) 指定管理料の件については、施設の管理と運営をシルバー人材センターに委託しています。管理につきましては、今まで通り総合文化施設全体を管理していただいていますので、お客さんの多い、少ないにかかわらず同じような業務になるかと思います。年度内に

2,200万円を委託料としてシルバー人材センターにお支払いし、年度が終わったら精算をして一般会計に戻していただいています。

(委員) 個別施策1－2のRCA校交流の「得られた効果と今後の課題」について、良い面も書き入れた方がいいのではないかと思います。

(教育長) 令和3年度の交流についても、渡航ができない場合を視野に入れて計画をしていく必要が生じる可能性があります。そのためもっとタブレットを利用し、海外で英語力を高める方策はないかと探っているところでもあります。表現につきましては、今後さらに検討していきます。

(町長) 「執行状況の点検・評価」は9月の総合教育会議で協議していただき、議会に報告後、ホームページで公表することになりますのでよろしくお願いします。

以上で「教育課主要事業の進捗状況」と「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価・中間報告」を終わります。

(4) 東栄町小中学校 I C T機器整備計画の進捗状況について

(町長) 次に、「(4) 東栄町小中学校 I C T機器整備計画の進捗状況について」を議題とします。事務局の説明を求めます。

(教育課) 東栄町小中学校 I C T機器整備計画の進捗状況の報告をさせていただきます。資料4をご覧ください。I C T機器の整備については、大きく分けて2つに区分され、1つめが国の「教育の I C T化に向けた整備5か年計画」に基づくもの、2つめが国の「G I G Aスクール構想」に基づくものです。

まず、「教育の I C T化に向けた整備5か年計画」に基づくものです。これは、2018年から2022年までの5年間は国の地方財政措置、いわゆる交付税が算入されるため、自治体の責任で整備するものです。

小学校・中学校ともに、パソコン教室にある Windows のパソコンがこの1月末でリース期間が終了しましたので、今月からは、ライセンスのみ1年間の更新をして使用しています。児童生徒に「1人1台端末」が配備されましたので、今後、パソコン教室の Windows パソコンの必要性を検討することとしており、その結果によって再リース、廃止等の判断をしていきたいと考えています。

教員用のパソコンは令和元年度に更新しました。中学校の電子黒板につきましては平成30年度に3年生教室、今年度に2年生教室と1年生教室に整備をしているところです。

次に、「G I G Aスクール構想」に基づく整備です。児童生徒用の「1人1台端末」は機種を iPad として、小学校に130台、中学校に80台、合計210台を整備しました。iPadには学年に応じた学習アプリがインストールされており、小学校には児童が自分の気持ちを天気例えて入力する「スクールライフノート」を導入して、先生が児童の心の変化をとらえる助けにしています。周辺機器として無線アクセスポイント、充電保管庫も併せて整備しました。

全体の事業費は、機器類と設定費用、研修費用等を含めて2,486万円で、財源は国の情報機器整備事業補助金が508万5千円、地方創生臨時交付金が1,977万5千円で、実質的な町負担は0円です。

現在は小中学校ともに児童生徒にタブレット端末が貸与されて活用が始まっており、先日の校長会でも「順調に活用している」との報告を受けています。次のページの資料は東栄小学校のブログの一部です。使ってみて気づく課題等もいくつかあるように伺っていますので、学校と情報を共有しながら解決を図っていきたいと考えています。

また、将来的には家庭に持ち帰っての活用も考えられますので、インターネット環境の無い家庭へのインターネット環境構築に伴う補助制度や、持ち帰る場合の学校としてのルール、町としてのセキュリティポリシー等についての検討を進めています。

(町 長) 事務局から「小中学校 I C T 機器整備計画の進捗状況について」の説明がありました。ただ今の件に関し、ご質問やご意見等がありましたらお願いします。

(委 員) 再リースの件について。メーカーが出してくるソフトウェアはどんどん新しくなり、重くなっていきます。新たなパソコンに更新をせずに、いつまでも再リースをしているようでは、立ち上げ、処理、フリーズなどでいろいろな問題が出てくると思います。新しく出てきたアプリに対応していくのであれば、随時新しいものを少しずつ導入する予算を確保しておかないと、今は補助金で賄えているかもしれないが、いざ何年後かに新しいことをしようとなった時にお金の課題がのしかかってくるので、対応されていた方が良いかと思います。

(教育課長) 現在、小中学校のパソコン教室に Windows パソコンがそれぞれ 26 台、27 台あります。通常であればリース終了後は新しい機器に更新ということになりますが、今年度は一人一台端末の導入があり、P C 教室にある Windows パソコンが必要なのか、不要なのかの判断が事前にできませんでしたので、とりあえず一年間は再リースという形で更新をせずに、今あるパソコンを使うという判断をさせて頂きました。ただ、ライセンスは更新しなければなりませんので、機器はそのままでライセンスだけを一年更新しました。今後一年かけて小中学校ともに P C 教室の Windows パソコンが必要なかどうか、必要であればどのような活用ができるか等を検証していきます。秋ごろに当初予算の検討に入るため、そのころまでに必要の有無を判断し、Windows パソコンが必要であれば、新たに予算措置をお願いしますし、不用ならば廃止することになります。今のところどちらとも言えませんので、学校で検討していただくようお願いをしているところです。

(委 員) 今の時点で、学校側に P C をどんなことに使ったか、タブレットをどのくらい頻繁に使ったかを書面やデータで残してもらい、後から教育員会が検証できるように学校側に依頼してはどうでしょうか。

(教育長) それをすると、使う手間が積み重なります。現状どれくらい使っているかは教育課でも見に行きますし、聞き取りもしていますし、大まかにこのくらい使っているということは言えます。どれだけ使ったか、という細かい部分についてはあえて求めずにいいこうかと思っています。この半年で方向性が見えてくると思います。何をどこまで学校教育の中で求めていくのかということも、先に機械が入ってしまいましたので、明確に示されていません。それについては、今後文科省の方でも整理されていくと思いますので、それに応じて、必要な道具は日々更新されていくので、必要な予算は取っていきます。

(委 員) データや資料をいかに蓄えるかによって予算取りを明確化できるようになるので、きちんとやっていくと良いのではないかと思います。

(町 長) 課長が申したように、検証期間を設けないとできないので、状況を見ながら検証できたらと思っています。

以上で「東栄町小中学校 I C T 機器整備計画変更について」の件を終わります。

(5) その他

①令和3年度文化祭関連行事等の事業計画(案)

(町 長) 次に、「(5) その他・令和3年度文化祭関連行事等の事業計画(案)」を議題とします。事務局の説明を求めます。

(社会教育係長) 令和3年度の文化祭や成人式の事務局案を報告いたします。資料No.5をご覧ください。

はじめに、2枚目の「令和2年度・町民作品展示会のアンケート結果」をご覧ください。今年度の作品展示会で、会場内に設置したアンケートの集計結果です。72名の方にご回答を頂きましたが、感想としましては、「大変良かった」と「良かった」と好評の意見を多くいただきました。「3. 作品展示や文化祭への意見等」についてもご意見をいただきました。

要望等については、集客面や空きスペースの改善など、来年度以降、より良いものにするように対策してまいります。次のページの良かった点については、「元気をいただけた」「今後も続けてほしい」など励みになるご意見をいただきました。

これらのアンケート結果等も踏まえ、令和3年度の文化祭についての案が1枚目の資料です。例年ですと開催期間は5日間程度ですが、より多くの方に展示作品を見て頂けるように10月30日～11月7日の9日間にしたいと考えております。また、例年ですと芸能祭りと文化講演会は別日に花祭会館で行っていましたが、集客を増やすためにも10月31日(日)に一緒に開催したいと考えております。最終的には、3月に開催予定の社会教育審議会で決めたいと思いますが、それまでに芸能祭りの出演予定者や作品展示出展予定者、また、お茶の会・囲碁の会・将棋の会の代表者へご意見をお聞きしたいと思います。

成人式につきましては、現在今年の成人式参列者にアンケートを実施中ではありますが、会場としましては、今年と同様に東栄中学校体育館で行いたいと思います。また、令和4年4月1日から民法の成年年齢が20歳から18歳に引き下げられます。令和5年1月開催の成人式から、該当しますが、全国の調査結果ですと、これまで行われていた成人式の対象年齢を引き下げる予定だという自治体はありませんが、成人式の名称は、例えば「はたちのつどい」「はたちを祝うつどい」など名称の変更は必要になってくると思います。こちらも社会教育審議会で協議し決定したいと思います。

(町 長) 令和3年度文化祭関連行事等の事業計画(案)の提案がありました。最終的には社会教育審議会で判断していただくこととなりますが、皆さんからもご意見等を伺いたと思います。文化祭、成人式の件で何かご意見はありますでしょうか。

(委 員) いつもは、町政功労者表彰式を文化講演会の日の午前中にやられていたと思いますが、令和3年度は町政功労者表彰式の日をちを変えるということによろしいでしょうか。

(町 長) 町政功労者表彰は、表彰審査委員会の皆さんにご理解をいただいて日程を合わせて

いる状況です。集客の問題と、時間を割いて一日設けるのは大変なので、トータル的にご検討いただけたらと思います。当然こういう催しをするためには、住民の皆さんに見ていただくことがまず優先ですので、十分皆さんの意見を尊重したうえで行いたいと思います。

(委 員) 今後の成人式のあり方については、資料 No. 5「成年年齢引き下げ後の成人式の実施に関するフォローアップ調査」にもあるように、ある程度高校を出て、いろいろな体験をしてからの方が門出の祝いができるのかなと思うので、今後についても現行通りで良いのかなと思いました。

(町 長) ご意見ありがとうございました。以上で「令和3年度文化祭関連行事等の事業計画案」の件を終わります。

②教育施設の改修状況・計画等について

(町 長) 次に、「教育施設の改修状況・計画等について」事務局の説明を求めます。

(教育課) 教育施設の改修状況・計画等について説明させていただきます。資料はNo. 6です。

この表は、平成25年度以降の教育施設の改修状況の一覧です。現在、公共施設等総合管理計画を策定しておりますが、いずれにしても、各施設ともに計画的な改修や修繕を加えながら長寿命化を図っていく必要があると考えます。

今後においても、テニスコートと野球場の照明、野球場のバックネット、東栄ドームの補修などが必要と考えていますので、各種計画にのせたうえで、実施に向けて検討したいと考えています。

(町 長) 教育施設の改修状況・計画等の報告がありました。ご質問やご意見等がありましたらお願いします。

(委 員) 平成26年の記載がないのですが、事業が無かったということでしょうか。

(教育課長) 平成26年度は記載すべき事項がありませんでしたので、割愛しております。

(委 員) 令和3年度は弓道場トイレ洋式化の予定のみですか。

(教育課長) 令和3年度に弓道場トイレの洋式化を予定しています。また、令和2年度の欄に中学校階段昇降機設置工事予定とありますが、3月議会で補正予算を議会にお諮りして、議決をいただいたら繰越をして令和3年度に設置工事を行う予定です。

(委 員) 東栄中学校のテニスコートがだいぶ荒れています。テニスコートの一面、二面のグリーンサンドが雨によってだいぶ流れていますので、中学校は教育委員会に改善の要望をするという話をしていましたが、そのような要望は入っていませんか。

(教育課長) そういう話をいくつかいただきましたので、これに特化した予算を付けるのではなく、修繕費の中で対応したいと考えています。

これとは別に、小学校前のバス停が、雨が降ると水浸しになりますので、そこを改善する

予算を当初予算に計上させていただきました。

(町 長) 以上で「教育施設の改修状況・計画等について」の件を終わります。

(町 長) 一点、情報提供をさせていただきますのでご承知おきます。以前、役場裏の職員駐車場にあった倉庫は火災によって焼失してしまいましたが、保険を掛けておりましたので、今回、建て替えをすることになりました。建て替えにあたっては、中学生の自転車駐輪場も老朽化で雨漏りするなど安全に利用するのが困難ということでしたので、倉庫に駐輪場を併設することとし、1月に発注、5月末の完成予定となっています。工事の期間中は生徒の登下校がありますが、安全を確保しながら進めさせていただきますのでよろしくお願いします。

(町 長) 予定していました議題は以上ですが、そのほかに出席委員の皆さんからの協議事項はございませんか。

以上で議事を終わります。

4 閉会

(教育課長) 長時間にわたりご協議ありがとうございました。以上を持ちまして「令和2年度第2回東栄町総合教育会議」を閉会します。